

# 経営比較分析表

東京都 八丈町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A8
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	56.06	99.52	3,076

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,834	72.23	108.46
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,622	24.20	314.96

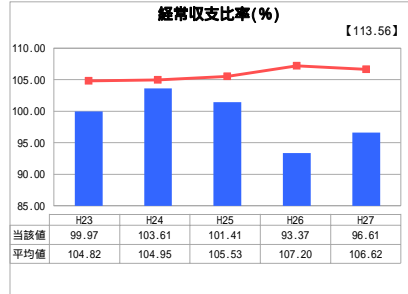
**グラフ凡例**

■ 当該団体値(当該値)

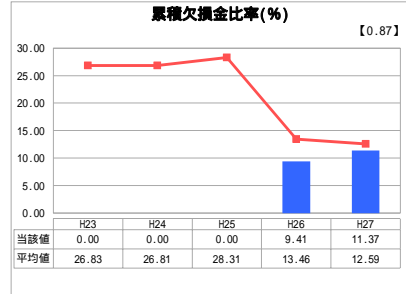
— 類似団体平均値(平均値)

【】 平成27年度全国平均

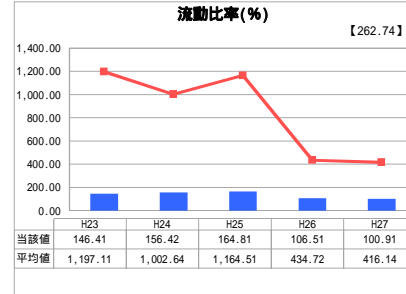
## 1. 経営の健全性・効率性



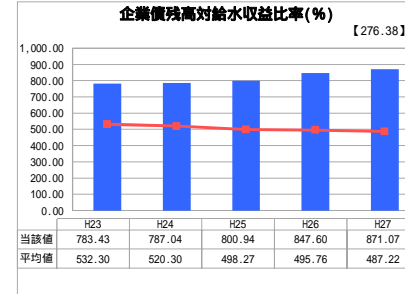
「経常損益」



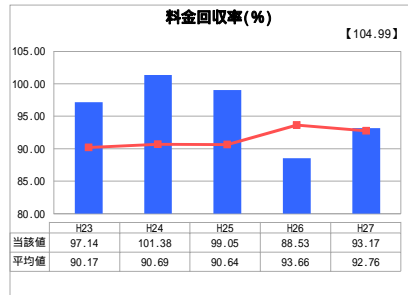
「累積欠損」



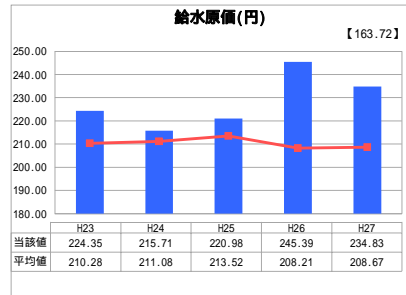
「支払能力」



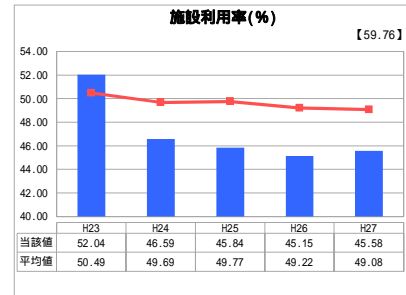
「債務残高」



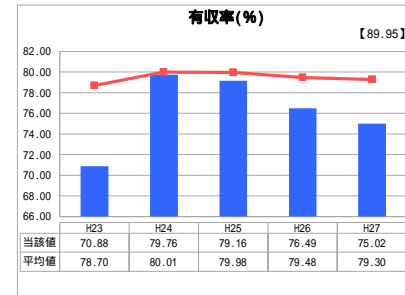
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

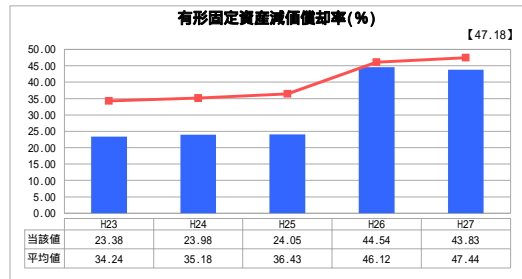


「施設の効率性」

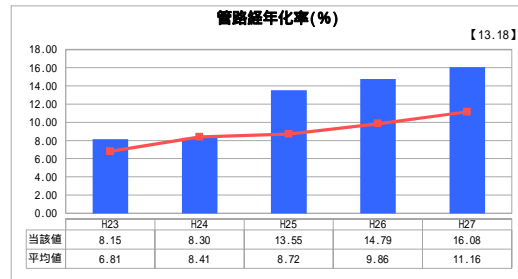


「供給した配水量の効率性」

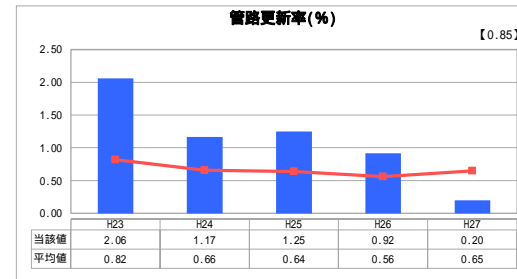
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

給水収益で費用が賄われていないため、料金回収率が低く、経常収支比率も低くなっている。その結果累積欠損が発生し、短期的な債務に対する支払能力を表す流動比率は低くなりつつある。また、企業債残高対給水収益比率が高いことから、投資規模も高くなりつつある。

### 2. 老朽化の状況について

管路経年化率が高く、管路更新率が低い。今後も国・都の補助事業を活用し、老朽管を更新する。

### 全体総括

老朽化した管路等の更新により投資規模が高くなりつつある中、人口減少等により給水収益は減少している。今後は、投資規模を見直し経費削減に努めるとともに、早急に料金の見直しを検討する必要があります。